

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和5年度分）

団体名：木津川市

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	(千円)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
					事業費 (実績額)	交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	防災	地域防災力強化事業	<p>【事業の目的】 防災情報の共有により、地域の共助体制の強化を図る。災害発生時に共助力を發揮できるよう、市民の意識向上と自主防災組織の活動促進を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの自主防災会がそれぞれ作成したタイムラインと避難カードを印刷し、住民への配布。 ・小学1年生、小学3年生、中学1年生を対象に木津川市防災ハンドブックの配布により、地域の共助体制を作る。 ・ハザードマップデータを更新し、市ホームページに掲載。 ・地域の自主防災組織が実施する防災に関する啓発活動等を支援するため、助成金を交付。 ・防災力強化のため、50名の防災士養成を目指し、講座を開講。 ・転入者等に配布している既存の木津川市総合防災マップについて、不足が見込まれる1,000冊を増刷。 	6,183	3,091	<p>タイムラインと避難カードを住民へ配布し、児童生徒用防災ハンドブックを小中学生へ配布した。ハザードマップは主に土砂災害警戒区域及びそれに関連する啓発記事面の修正を行い、増刷とともに、ホームページを更新した。また、市内26自主防災組織に対し助成を行ったほか、市民を対象に防災士養成講座を開催し、46名の合格者を輩出した。</p>	<p>防災マップ等の更新や配布により、地域住民の共助体制を強化したほか、防災士養成講座により防災に関する知識や技術を身につけ、合格者を輩出したことで、防災士の資格取得者の增加に寄与することができた。</p> <p>自主防災組織への助成も含め、地域全体において災害発生時の対応力強化につながる取組みを行うことができた。</p>
2	地域づくり連携推進事業	防災	防災情報発信拡充事業	<p>【事業の目的】 災害等の緊急情報を即時に住民に伝えることにより、災害時の適時適格な避難や地域ぐるみの対応を促し、被害の最小化を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災情報メールの自動連携機能により、気象情報や国民保護情報等のJアラートからの緊急情報を木津川市公式LINEアカウントからプッシュ配信するため、LINE連携を行う。 ・より多くの住民に防災情報メールを発信するため、登録可能メールアドレス数を追加。 	330	165	防災情報発信の多量化を図るため、市防災情報メール及びJアラートと市公式LINEの自動連携を行った。防災情報メールの登録可能メールアドレスを18,000件追加した。	公式LINEへの自動連携を行うことで、メールアドレス登録者以外にもプッシュ型で防災情報を発信することができるようになったこととあわせて、メールアドレス登録可能数を増やしたことと、成果指標である公式アカウント登録者数の増加とさらなる危機管理体制の充実に寄与した。
3	地域づくり連携推進事業	子育て応援	新生児聴覚検査実施事業	<p>【事業の目的】 適切な発達支援や先天的に難聴のある子どもの社会参加につなげる。</p> <p>【事業の内容】 すべての新生児を対象とした聴覚検査が実施できるよう、自己負担となる費用の一部を助成することにより受検しやすい環境を整備。</p>	1,450	725	新生児の聴覚障害の早期発見のため、検査費用の一部を公費負担した。新生児435人が事業を利用し受検した。	聴覚障害は早期発見により適切に支援が行われた場合は、影響を最小限に抑えることができるため、本事業により聴覚検査を受検しやすい環境を整備することで、成果指標「乳児相談などの利用率」向上を図ることができた。
4	地域づくり連携推進事業	子育て応援	あそびでつながるプレイフルパーク事業	<p>【事業の目的】 すべての子育て世帯が安心して子どもを産み、喜びと楽しみを感じながら、子育てを嘗むことができるまちづくり、また、次代の社会を担う子どもたちが健やかに成長することができる「子育て支援N.O.1」を目指すまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の内容】 遊具を活用した「遊び」を通して、子どもたちの健やかな成長と、子どもや保護者などの交流を育むイベントを開催する。</p>	2,658	329	市内文化施設設施において、様々な遊具を活用した遊びによる子ども向けイベント「あそびでつながるプレイフルパーク」を年2回（秋・冬）実施し、合計691人の参加者があった。	子どもの遊びイベントを通して、子どもたちの健やかな成長や保護者の交流の場の創出につながった。イベントへの参加を契機として、市が日常的に提供する子育て支援サービスの利用につながることが期待できる。

5	地域づくり連携推進事業	環境	COOL CHOICE普及啓発事業	<p>【事業の目的】 脱炭素社会づくりに貢献するための「賢い選択」（COOL CHOICE）の普及啓発を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業や民間団体等と連携して、脱炭素への行動変容やライフスタイルの選択を促す取組として、環境イベントを開催し、環境意識の更なる啓発促進。 ・「エコフェスきづがわ」の開催や小学4年生向け学習ハンドブックの配布。 	1,107	553	<p>地球温暖化対策のための国民運動である「COOL CHOICE」事業を実施し、市民や事業者へ脱炭素社会づくりに向けた取組みに関する普及啓発を行った。商業施設において、環境イベント「エコフェスきづがわ」を開催し、企業の協力等により、脱炭素や廃棄物の減量に関する出展ブースを設けた。また、小中学校向けの環境に関する出前授業や小学4年生向け学習ハンドブックの配布を行った。</p>	<p>企業、民間団体等と連携して環境イベントを開催し「COOL CHOICE」の普及啓発に取り組むことで、市内における地球温暖化対策への意識、認知が広がった。あわせて、食品残渣をリサイクルした堆肥や市内の竹材を使ったコンポスト等の配布したことにより、成果指標である「家庭系一般廃棄物のリサイクル率」の向上に資する取り組みを実施することができた。</p>
6	地域づくり連携推進事業	文化振興	国立博物館特別展出展事業	<p>【事業の目的】 淨瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念として、奈良国立博物館で特別展「聖地 南山城 - 奈良と京都を結ぶ祈りの至宝」が開催、東京国立博物館で特別展「京都・南山城の仏像」が開催されると伴い、観覧した人に向けて木津川市の観光情報を発信し、木津川市への誘客を促す。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展を同博物館ラウンジにて実施。 ・お茶の京都DMOと連携し、東京・奈良国立博物館での特別展にあわせた、木津川古寺巡礼バスの夏季追加運行。 ・ガイド付き古寺巡礼ツアーの造成。 ・本市の古寺等を分かりやすくまとめたパンフレットの作成。 	6,104	3,052	<p>奈良・東京国立博物館で行われた淨瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展でのPRブース設営やワークショップを開催した。また、古寺現地への誘客促進のため、広域的な情報発信や、古寺巡礼バスの運行、ツアーを実施したほか、パンフレットを作成した。</p>	<p>国立博物館の特別展にあわせて本市のPRを行うことで、文化財を活用した誘客として交流人口を増やすとともに、古寺巡礼バス等により観光客の受入体制を強化したことにより、成果指標「木津川市を訪れた観光客数」の増加に寄与した。</p>
7	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	市民まつり開催事業	<p>【事業の目的】 市民相互の交流、商工業の振興と発展、そして本市の一体性の向上を図る。</p> <p>【事業の内容】 木津川市市民まつり実行委員会が行う木津川市市民まつりの実施に対し、補助金を交付。</p>	9,988	2,118	<p>市内で活動する25団体の協力による夏祭り実行委員会を組織し、市民のひと時の憩いと、住民相互のふれあいを目的に、市民の手による市民みんなが楽しめる木津川市市民まつりを実施した。河川敷での花火打ち上げに加え、城山台で露店の出店を実施した。</p>	<p>市民まつりの開催により、交流人口の創出と市民相互の交流を促進したことで、成果指標「まちへの愛着度」向上に寄与し、地域の活性化を図ることができた。</p>
8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	城陽井手木津川バイパスにぎわい拠点整備検討事業	<p>【事業の目的】 国道24号城陽井手木津川バイパスの整備の機会を活用し、沿道地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道163号との結節点において、市内外の人が利用できる多様な機能を有したにぎわい施設の整備に向けた検討を行う。 ・にぎわい拠点整備の機運醸成に向け、地元事業者を中心としたプラットフォームを立ち上げ、アンケート調査、府内ワーキンググループ運営補助を行う。 	5,984	2,992	<p>城陽井手木津川バイパス沿線のまちづくり構想のうち、官民連携によるにぎわい拠点の検討にかかる基本構想を策定した。商工会員向けアンケートにおいて、参画意識が高かった事業者を対象に、プラットフォームの開催支援業務を発注することで、事業者の機運醸成を図った。</p>	<p>木津川市都市計画マスターplanでは、城陽井手木津川バイパスを広域交流軸と位置づけており、にぎわい拠点を整備することは、成果指標「都市計画道路整備率」の向上に寄与し、参画意向が高い地元業者を中心に、整備に向けた検討を行うことができた。</p>
9	地域づくり連携推進事業	その他	企業立地促進事業	<p>【事業の目的】 企業立地を促進し、地域経済の担う産業の創出や地域経済の活性化と雇用の創出を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本店又は工場、研究所その他の事業場を新たに市内に設置する企業に対する補助の実施。 	70,068	12,850	<p>企業立地促進条例に基づき、助成制度を活用して戦略的に企業誘致活動を展開するとともに、8社に対して企業立地促進事業助成金を交付した。</p>	<p>企業立地促進事業助成金を交付し、市内産業用地への企業立地を促進することで、成果指標「市内誘致企業における市民雇用者数」の増加に寄与したほか、周辺環境に配慮した企業の積極的な誘致活動ができた。</p>
10	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	児童急増対策事業	<p>【事業の目的】 城山台小学校児童急増対策として、安心・安全な教育環境を構築。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外で水泳の事業を実施するため、水泳指導業務を委託。 	4,125	2,062	<p>児童が急増している城山台小学校において、安心安全な教育環境下で授業を行うため、水泳指導業務を委託し、校外で水泳の事業を行った。</p>	<p>特に児童が急増している城山台小学校2,3年生が安心して安全に水泳の事業を受けられるよう水泳指導業務を委託し、子どもが安心して教育を受け成長できる環境を構築したことで、成果指標「「学校に行くのが楽しい」児童・生徒の比率」の向上を図ることができた。</p>

11	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	弱視・難聴児童生徒支援事業	<p>【事業の目的】 公立小中学校に通う弱視や難聴の児童生徒が他の児童生徒と共に安心して教育を受けられるように学習支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 ・拡大読書器や補聴用器具の購入</p>	923	461	弱視・難聴児童生徒対応のため、補聴用器具や弱視用器具等を購入した。	対象となる児童一人ひとりに対応した器具をそれぞれ購入したこと、成績指標「学校に行くのが楽しい」児童・生徒の比率向上を図ることができたほか、木津川市総合計画に掲げる「子どもの可能性を伸ばす教育の推進」にも繋がる取組みができた。
12	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	子育て応援事業	<p>【事業の目的】 子ども・子育て支援にかかる情報を一元化して提供することで、必要とする人に必要なサービスを届け、子育て支援の充実を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・子育て応援サイト「きづがわいい」に掲載する情報の更新を行う。</p>	464	232	市や府、国のことども施策や制度改正に対応するため、子育て応援サイトの情報更新及びデザインの変更を行った。	子ども・子育て支援に係る行政の各種施策・情報を最新化したこと、保護者へ適切に情報提供することができ、市の提供する子育て支援サービスの利用につながることが期待できる。
13	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	子ども安全対策事業	<p>【事業の目的】 通学路の安全対策。</p> <p>【事業の内容】 ・上狹小学校通学路の劣化している道路上の通学路表示マーキング工事。 ・恭仁小学校通学路の変更に伴うグリーンベルト設置。 ・加茂小学校通学路の横断歩道のグリーン化を実施。</p>	1,071	535	通学路のグリーンライン施工工事と横断歩道のカラー化工事を行った。	通学路の各施工工事により、通学路の安全対策を施したこと、下校時、危険箇所の安全確保体制の強化を図った。京都府によるガードパイプ設置も含め、京都府総合計画にある地域の実情に応じた環境整備を行ったほか、地域における防犯体制の強化と意識づけにより、成績指標「スクールセーフティボランティアの登録者数」の向上に寄与した。
14	地域づくり連携推進事業	文化の力	文化財保存活用地域計画策定事業（歴史文化基本構想策定事業）	<p>【事業の目的】 市域の歴史文化的遺産の総合的な保全と活用。</p> <p>【事業の内容】 ・文化財保存活用地域計画の本文編及び概要版の印刷製本。</p>	1,816	908	木津川市文化財保存活用地域計画が、令和5年7月に文化庁の認定を受け、本文編（300冊）及び概要版（1,000冊）を印刷製本し、関係機関・団体等に配付した。	計画を印刷製本し、関係機関・団体等へ配付することで、木津川市内に所在する優れた多くの文化財を、市の歴史文化の特徴を理解するために設けた8つのテーマに位置付けることで、体系的な理解の促進を図り、地域がかりでの木津川市の固有文化財の保存活用を進める取組みの実行に向け、市民の機運醸成に寄与した。
15	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	教育環境整備事業	<p>【事業の目的】 子どもの安心・安全な学校生活の確保及び、子どもが学習や活動に集中できる教育環境の整備。</p> <p>【事業の内容】 ・相楽小学校における校舎改築・長寿命化改修等事業に伴う民間事業者への水泳指導業務委託 ・1学級増加見込である相楽台小学校における空調機設置工事。 ・高の原小学校における多目的ホール床（カーペット）改修の実施。</p>	7,785	3,892	相楽台小学校では児童増加により学級数が増加したため、1クラス分の空調機を設置したほか、高の原小学校ではユニバーサルデザインの視点から多目的ホールの床改修工事を実施した。また、相楽小学校の校舎改修に伴い、安全性確保のため工事期間中の水泳学習を委託した。	児童増加への対応や、安全性の確保等、計画的な整備を行い、質の高い教育の環境・体制の充実を図ったことで、成績指標「学校に行くのが楽しい」児童・生徒の比率向上に寄与した。
16	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	こども家庭センター設置準備事業	<p>【事業の目的】 改正児童福祉法において、こども家庭センターの設置が努力義務とされたことによる相談支援体制の強化。</p> <p>【事業の内容】 ・こども家庭センターの設置に向けた必要備品の購入。</p>	1,432	716	こども家庭センターへの制度移行に係る準備として、相談スペース新設のため、備品を購入した。	児童福祉法の改正に基づき、令和6年度からのこども家庭センター開設にかかる相談スペースを新設した。今後、子どもや保護者の意見や希望を汲み取り、必要なサービス等につなぐことができるようになり、成績指標「乳児相談などの利用率」が期待できる。
17	市町村間連携推進事業		図書館連携事業	<p>【事業の目的】 将来の人口減少社会も見据え、インフラの効率化や持続可能なまちづくりが求められるなか、幅広い分野に対する取組みをより効果的に指針していくため、木津川市・奈良市間において、連携・協力関係を深めていく。</p> <p>【事業の内容】 奈良市立北部図書館については、木津川市民が利用出来るよう、奈良市との包括連携協定の主な連携事項の1つである公共施設の相互利用を推進することで、公共施設の効率的な利活用と地域住民の交流促進を図る。</p>	6,343	3,171	木津川市民の奈良市立北部図書館前年度利用実績により、広域連携負担金を支出した。	奈良市との包括協定の主な連携事項である公共施設の相互利用を推進したこと、成績指標「木津川市民の奈良市北部図書館延べ利用者数」向上へ寄与し、交流人口の増加と、地域活性化を図ることができた。

18	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	窓口DX化推進事業	<p>【事業の目的】 市民生活の利便性向上を図り、市民の満足度を高める。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請ツールライセンスを取得し、利便性向上、業務効率化を図る。 ・引越しワンストップサービスの開始に伴い、システム改修・保守を行う。 ・タッチパネル式道路台帳閲覧システムを導入し市民サービスの向上を図る。 	6,994	3,497	<p>職員の手続きをLGWAN上で行えるよう、自治体専用のWEBフォーム「Logoフォーム」を活用し、オンライン化した。「書かない窓口」異動受付支援システムを改修し、引越しワンストップサービスとの連携構築を行った。紙媒体であった閲覧用道路台帳をタッチパネル式の閲覧システムを導入した。</p>	<p>「Logoフォーム」によるオンライン申請により、利便性・業務効率があがり、書かない窓口による行政サービスの環境整備を行ったことで、成果指標「まちの愛着度」向上に寄与したほか、閲覧用道路台帳については、統合GISの一機能として追加したものであるため、ランニングコストや更新費用も不要となった。</p>
19	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	橋りょうマネジメントサポートシステム導入事業	<p>【事業の目的】 「木津川市スマート化宣言」に基づき、行政事務のスマート化を進めるため、AI等のデジタル技術を活用した業務の効率化と省力化を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうマネジメントサポートシステムを導入し、点検結果、補修履歴等をデータベース化し、クラウドにデータ保管する。 	242	121	<p>橋りょうの点検結果や補修内容について、紙媒体やCDで納品があったものを橋りょうマネジメントサポートシステムを導入し、データをクラウド化した。</p>	<p>システムの導入により点検結果や補修履歴等を一括管理、データベース化し、クラウドにあげることで、DXの推進及び維持管理において効率化を図ったほか、現場での直営点検でも効果的な点検が実施できるようになった。</p>
20	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	自動採点システム導入事業	<p>【事業の目的】 中学校での教員によるテスト採点業務の軽減を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動採点システムを市内全中学校に導入。 	495	247	<p>デジタル採点システム「デジらく採点2」を市内全中学校へ導入した。</p>	<p>児童採点システムを導入したことで、採点時間を大幅に短縮できただけでなく、採点結果をデータ出力されることで、分析が容易になり、生徒の学習指導が充実した。</p>
21	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	図書館システムクラウド化事業	<p>【事業の目的】 システムの安定稼働、スムーズなサーバーの保守管理、利用者の利便性向上を図る。</p> <p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリ不足による不安定な稼働やサーバー管理に課題のある図書館システムについて、リース期間の満了に合わせてクラウド化し、保守管理の効率化やコストの削減を図る。 	661	330	<p>5年ごとのシステム更改に加え、令和6年3月にオンプレ方式からクラウド方式へ変更した。</p>	<p>システム更改により、サーバ管理の必要がなくなったことや、メモリ不足の解消のほか、新たな機能追加により利用者サービスの向上を図れた。</p>